

作品 No.060



生きものの“つぶやき”:

「前～倣え！」

エッセイ:

ある日、気分転換にと母と私は公園に散歩しに行った。のんびり池の周りを歩いていると、突然母が「あれ見て！凄いい！」と叫んだ。私はまず驚いた様子の母に驚いたが、母が見つけたその光景を見て、さらに驚いた。

甲羅干しをしている沢山のカメ。しかもそのカメは背の順に並び、みんな同じ方向を向いていたのだ。その姿はまるで体育の授業で整列する小学生のようだ。「凄いい！」そう思い、夢中でカメラのシャッターを切った。

しかしミシシippiaカミミガメは外来種だ。この池で繁殖しているということは、誰かがペットとして飼っていたものを逃がしたのが始まりだとも考えられる。こんな不思議で面白い光景の裏には外来種問題という深刻な事実があるのだと思うとなんだか悲しくなった。生き物を飼うときは、最後の時まで育てるという責任をしっかりと持たなければならないと改めて感じた。(364字)

生きものの紹介:

ミシシippアカミミガメ ほぼ日本全国に分布。外来種。

撮影場所・日時:

埼玉県久喜市桜田にある公園・2020年4月19日

応募者の自己紹介:

1. 榎本実津穂／埼玉県立越谷北高等学校2年
2. 所属：生物部
3. 将来の夢：医薬品又は化粧品の企業内研究員

審査委員会からのコメント

遠景ですが、その分意図がよくわかる面白い作品です。外来生物問題の意識もいいですね。色々と考えさせられる一枚です。